

アレシ スパイナルシステム 取扱説明書



はじめに

この度は、アレン スパイナルシステムをご購入いただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書は、アレン スパイナルシステムの正しい取扱方法について説明しています。

アレン スパイナルシステムを正しくご活用いただくために、ご使用の前に必ず本書をお読みになってください。

※お読みになった後は、お使いになるときにいつでも見られるよう、大切に保管してください。

目次

1. 安全上の警告・注意	1
2. 製品概要と各部・付属品の名称・構造	3
3. 一般的な使用方法とその注意事項	5
3-1. フレックスフレーム	5
3-2. ウイングセット	13
3-3. C プローンポジショナー	16
3-4. C フレックスヘッドポジショナーセット	19
3-5. プローンアームサポート	26
3-6. スーパイントップス	28
3-7. システムとしての使用方法	29
4. 使用後の処理に関する事項	30
5. 医療機器の清掃、消耗品の交換、保管方法に関する事項	31
6. 保守点検に関する事項	31
7. 技術仕様	32
8. アフターサービスとその連絡先に関する事項	32
9. 保証	33

1. 安全上の警告・注意

使用する前に、この「安全上の警告・注意」を、よく読んで、正しくお使いください。

※ここに示した注意事項は、製品を安全かつ適正に使用して、使用者等への危害や損害を未然に防止するためのものです。

※危害や損害の大きさと切迫の程度を明確にするため、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の二つに区分して示しています。

図記号の例	
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負うことが想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。
	禁止（してはいけないこと）を示します。
	強制（必ず守ること）や指示を示します。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

	1. 本品を使用目的以外に使用しないでください。 2. 分解や修理、改造を行わないでください。事故や故障の原因になります。 3. 本品は滅菌しないでください。 4. ディスポパッド、クリーンケープは再使用しないでください。 5. ウイングセットは浸漬しないでください。 6. 当社指定の構成部品及び交換部品以外の組合せで使用しないでください。 7. フレックスフレームは、屈曲及び傾斜の動作を同時に行わないでください。 8. 本品の構成品及び併用する手術台の適用患者体重を超えた使用はしないでください。
	1. 使用前に本品の正しい操作方法を確認してください。 2. 患者に無理な姿勢を取らせたり、無理な力がかからないように装着してください。



注意

	1. 適用及び使用方法を熟知した医師以外は使用しないでください。 2. 強いショックを与えたり、落としたりしないようにしてください。故障するおそれがあります。 3. MRI（磁気共鳴映像法）装置等の強磁場域では使用しないでください。
	1. 手術台用クランプの手術台サイドレール又は手術台アクセサリレールへの固定や、各システムの取り付けは確実に行ってください。 2. ご使用前に必ず機器が正常にかつ安全に作動することを確認してください。 3. フレックスフレームを調節する場合は、フレーム軸のロックを解除してください。

2. 製品概要と各部・付属品の名称・構造

フレックスフレーム、ウイングセット、C プローンポジショナー、C フレックスヘッドポジショナーセット、プローンアームサポート、スーパイントップス等で構成されます。



C プローンポジショナー



プローンアームサポート



C フレックスヘッドポジショナーセット



スーパイントップス



ディスポパッド : ポリウレタンフォーム
 レッグサポートパッド: ポリウレタンコーティングナイロン
 スーパイントップス用パッド: ポリウレタンコーティングナイロン
 プローンアームサポート用パッド: ポリウレタンコーティングナイロン

構成品名	スパイナル システムセット	スパイナル＋ C フレックスキット
フレックスフレーム	○	○
ウイングセット	○	○
ウイングセット用ディスポパッド	○	○
C プローンポジショナー	○	
C プローンポジショナー用ディスポパッド	○	
C フレックスヘッドポジショナーセット		○
C フレックス用クリーンケープ		○
リバーススターバーストアダプター		○
プローンアームサポート	○	○
アームボード用レールクランプ	○	○
スーパイントップス	○	○
スーパイントップス用パッド	○	○
手術台用クランプ	○	○
イージーロックソケット	○	○

注文コード	品番	商品名
623-700-00	A-70000	アレン スパイナルシステムセット
623-702-01	A-70002EU	アレン スパイナル+Cフレックスキット (マッケ OP 台用)
623-702-02	A-70002JP	アレン スパイナル+Cフレックスキット (国産 OP 台用)
623-700-02	A-70100	アレン フレックスフレーム
623-700-03	A-70200	アレン ウイングセット
623-700-05	A-70300	アレン Cプローンポジショナー
623-700-06	A-70700	アレン Cフレックスヘッドポジショナーセット
623-700-09	A-70725	アレン リバーススターバーストアダプター
623-700-13	A-70610	アレン プローンアームサポート
623-700-14	A-70500EU	アレン アームボード用レールクランプ (マッケ用)
623-701-19	A-70500JP	アレン アームボード用レールクランプ (国産 OP 台用)
623-700-10	A-70400	アレン スーパイントップス(背板)4枚入組
623-700-15	A-70510EU	アレン 手術台用クランプ (マッケ OP 台用)
623-700-16	A-70510JP	アレン 手術台用クランプ (国産 OP 台用)
623-400-23	A-40023	アレン イージーロックソケット (マッケ OP 台用)
623-400-30	A-40030	アレン イージーロックソケット (国産 OP 台用)

別売品

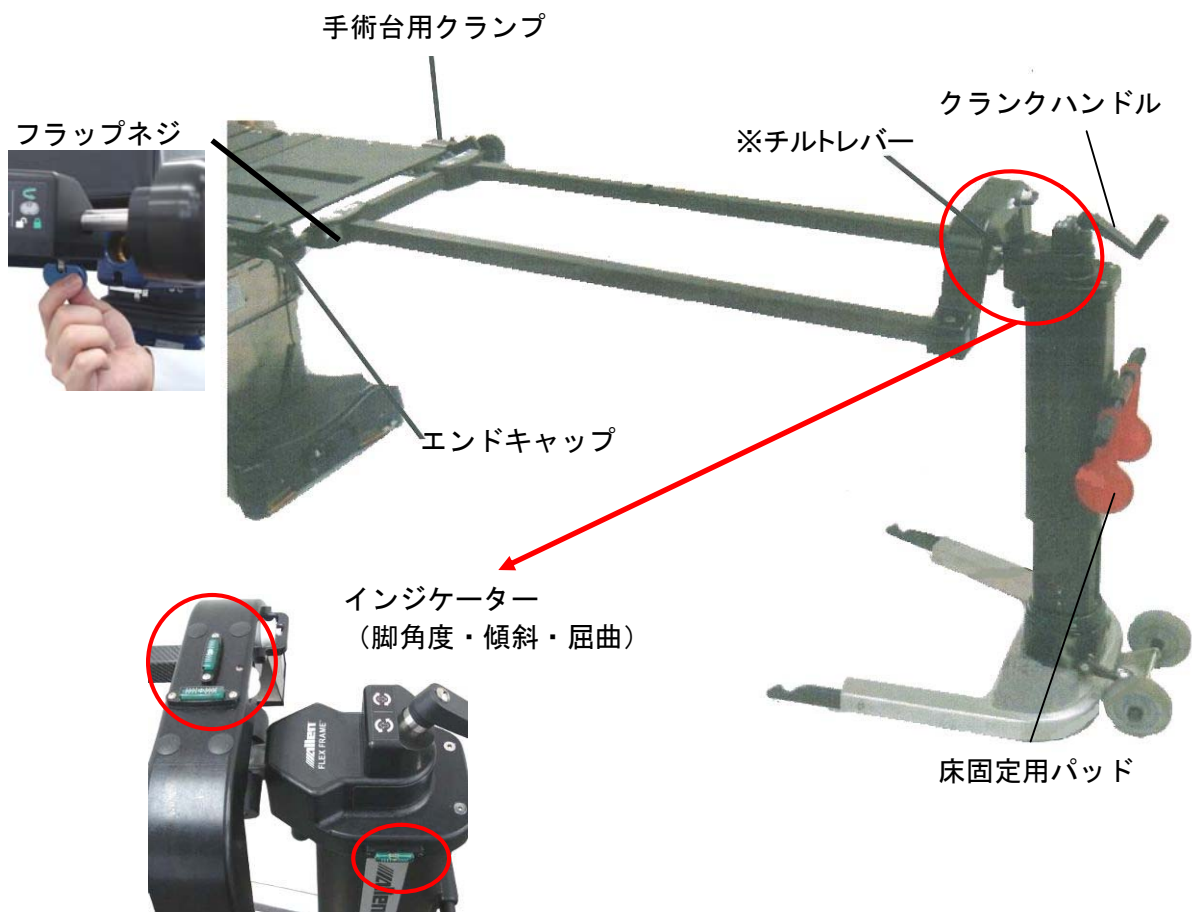
注文コード	品番	商品名
623-700-17	A-70441	アレン レッグサポートパッド
623-700-18	A-70501EU	アレン アクセサリー用レールクランプ (ショート) (マッケ OP 台用)
623-700-19	A-70501JP	アレン アクセサリー用レールクランプ (ショート) (国産 OP 台用)
623-700-20	A-70502EU	アレン アクセサリー用レールクランプ (ロング) (マッケ OP 台用)
623-700-21	A-70502JP	アレン アクセサリー用レールクランプ (ロング) (国産 OP 台用)

補充品

注文コード	品番	商品名
623-700-04	A-70260	アレン ウイングセット用ディスプレイパッド
623-700-07	A-70310	アレン Cプローンポジショナー用ディスプレイパッド
623-700-08	A-70702	アレン Cフレックス用クリーンケープ
623-700-11	A-70434	アレン スーパイントップス用パッド, 厚さ 5.0cm
623-700-12	A-70435	アレン スーパイントップス用パッド, 厚さ 7.6cm

3. 一般的な使用方法とその注意事項

3-1. フレックスフレーム

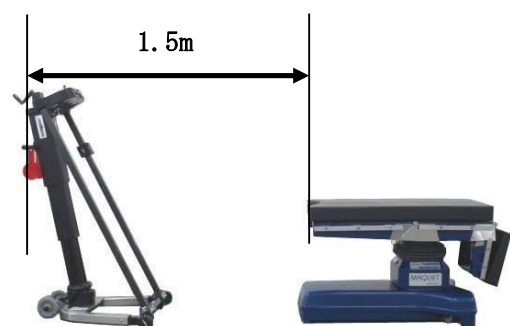


3-1-1. 手術台への取付

- 1) フレックスフレーム（以下、フレーム）を手術台から約 1.5m 離れた位置に設置します。

⚠ 注意

	1. 手術台に脚板、頭板が取り付けられている場合は取り外してください。 2. 手術台を水平にして取り付けてください。 3. 手術台と接続する部分の適用患者体重は 220kg 以下です。ただし、手術台の適用患者体重を超えないようにご注意ください。 4. 手術台の外側幅（左右レールを含む）が 510mm～648mm の手術台に適合します。
---	---



- 2) 手術台底部に床固定用パッドを取り付けてから、手術台を固定してください。

⚠ 注意

	パッドを強く引いて、手術台が確実に固定されていることを確認してください
--	-------------------------------------



- 3) ご使用になる手術台のサイドレール幅及び厚みに適合する手術台用クランプ（以下、OP 台用クランプ）を選択してください。

- 4) OP 台用クランプを手術台のサイドレールに取り付けます。OP 台用クランプをサイドレールに引っ掛けてスライドさせ、レールの端に確実に固定してください。

⚠ 注意

	サイドレールが OP 台用クランプから少し飛び出していることを確認してください。
--	--



サイドレールへの取付完成図

- 5) クランクハンドルを矢印のように回してフレームの高さを最大にします。



クランクハンドル



6) 片足でフレームのベースを踏みます。



7) 持ち手を上に引き上げ、フレームを「浮かせ」て、片側の一端をフックから取り外してください。



8) 同様にもう一端も取り外します。



9) エンドキャップを外向きに引きます。



- 10) フレームの端を持ち上げ、手術台に取り付けた OP 台用クランプに取り付けてください。このとき、フレームと手術台は 2.5cm 以上離してください。

⚠ 注意

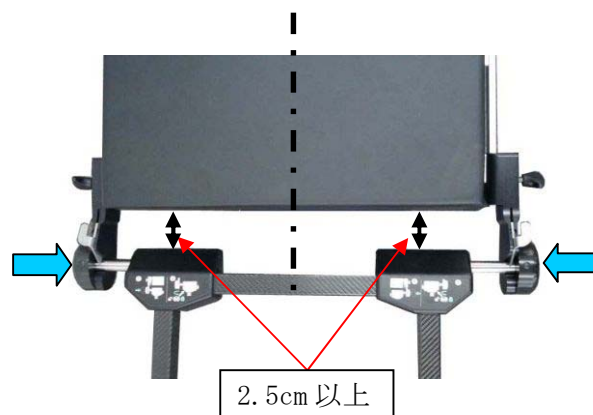
	この作業は二人で行ってください。
--	------------------



- 11) フレームが手術台の中心に位置するよう調節し、エンドキャップを OP 台用クランプに接触するまで押し込んでください。

⚠ 注意

	OP 台用クランプとエンドキャップとの間にすきまができないように取り付けてください。
--	--



- 12) フレーム下側のフラップネジを矢印のように回してエンドキャップを固定します。まず一方を固定し、OP 台用クランプとエンドキャップの間にすきまがないこと、フレームが手術台の中心に位置していることを確認してから、もう一方を固定してください。

⚠ 注意

	フレームがしっかりと固定されていることを確認してください。
--	-------------------------------



- 13) クランクハンドルを回して、フレームを手術台の高さに調節してください。

高さを上げる場合はクランクハンドルを反時計回りに回してください。下げる場合は時計回りに回してください。

高さを上げる 高さを下げる



- 14) フレームの支柱が床に対して垂直になるよう設置するため、フレーム横のインジケータの表示（支柱角度）が中心位置になるように調節します。



- 15) 必要に応じてロックレバーを踏み込み、フレーム軸のロックやロック解除を行ってください。



ロックレバー



右ペダルでロックする



左ペダルでロックを解除する

ロック解除



ロック



⚠ 注意



このロックレバーは、サイドの傾きを制御するもので、固定するためのものではありません。

⚠ 注意

	フレームを手術台に取り付けている間は、手術台の自動復帰機能を作動させないでください。フレーム及び手術台が破損するおそれがあります。
	1. フレームの調節中は、常にフレーム及び手術台の底部に注意してください。 2. ロックは手術で体位固定をする時のみに使用し、それ以外の時は常時ロック解除しておくことをお勧めします。 3. 長期間の使用後支柱基部よりグリスがにじみ出ることがありますが、アルコールかアセトンに浸した布で拭き取ってご使用ください。機能、安全性に影響はありません。

3-1-2. フレームを屈曲させる場合

手術台の可動（トレンデレンブルグ又はリバーストレンデレンブルグ）を利用して、フレームを屈曲させてください。

⚠ 注意

	1. フレックスフレームを調節する場合は、フレーム軸のロックを解除してください。 2. フレームの屈曲状態はフレーム上部左側のインジケータで確認できます。
--	--



⚠ 注意

	手術台がフレームの可動範囲を超えないよう注意してください。術野が高すぎる（あるいは、低すぎる）場合は、手術台の高さを調節してください。
--	--



インジケータ

3-1-3. フレームを傾斜させる場合

フレームが手術台と水平であることを確認してから、手術台の可動を利用して、フレームを傾斜させてください。

⚠ 警告

	フレームの屈曲と傾斜の動作を同時に行わないでください。
--	------------------------------------

⚠ 注意

	1. フレックスフレームを調節する場合は、フレーム軸のロックを解除してください 2. フレームの屈曲状態はフレーム上部右側のインジケータで確認できます。
--	---



インジケータ

3-1-4. 手術台からの取り外し

1) フレームの左ペダルを踏んでロックを解除します。



2) クランクハンドルを矢印のように回してフレームの高さを最大にしてください。



3) フラップネジを回してロックを解除します。



4) エンドキャップを外向きに引きます。



5) OP 台用クランプのレバーを押し上げてフレームをOP 台用クランプから取り外してください。



6) フレームの端を床にゆっくり下ろしてください。



⚠ 注意

	この作業は二人で行ってください。
---	-------------------------

- 7) 片足でフレームのベースを踏み、持ち手を上に引き上げ、フレームを「浮かせ」て、片側の一端をフックに引っ掛けてください。同様にもう一端も引っ掛けます。



- 8) エンドキャップを内向きに押し込みます。



- 9) 手術台から OP 台用クランプ、床固定用パッドを取り外し、持ち手に掛けてください。

⚠ 注意

	OP 台用クランプは、「カチッ」と音がするまで持ち手にはさみこんでください。
--	---



※チルトレバー（横転硬さ調節レバー）について

横転硬さはメーカー出荷時に調整されていますが、必要に応じて、下記の手順で調整が可能です。

1. 指でレバーを引き下げたまま（ロックがフリーになった状態）右手方向に 90° 回して指を離してください（指を離すとレバーが上がります）。



2. 横転硬さを調節します。レバーを右手方向に回すと締まり、左手方向に回すとゆるみます。



3. 調節終了後、指でレバーを引き下げたまま（ロックがフリーになった状態）もとの位置まで戻して指を離してください（指を離すとレバーが上がります）。



3-2. ウイングセット

3-2-1. フレックスフレームへの取付

- 1) ウイングセットのクランプの白いロック部分を押し下げながら引いて解除し、フレームに取り付けてください。

⚠ 注意

	本体横の表示ラベルはパッドの適切な方向を示しています。左右をまちがえないように取り付けてください。 
---	--



- 2) 患者に合わせて必要な間隔に位置を調節します。



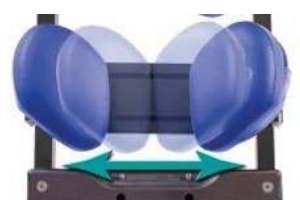
- 3) クランプをフレームに押しこみ、しっかりと固定してください。

⚠ 注意

	クランプが確実に固定されていることを確認してください。
---	------------------------------------



- 4) 幅調節ロックを解除し、ウイングセットの幅を調節してください。必要に応じ中央のパッドを取り外してください。



- 5) 幅を調節した後、幅調節ロックを固定してください。

⚠ 注意

	ウイングセットが確実に固定されていることを確認してください
---	--------------------------------------



- 6) 各パッドにウイングセット用ディスポパッドを取り付けます。ディスポパッドのポリウレタンフォーム（外側）が患者に接するように（さらさらの面が内側）、内外（うちそと）を反転させて取り付けてください。

⚠ 注意

	ポリウレタンフォーム（外側）が必ず患者に触れるように取り付けてください。取り付ける面を間違えると、効果的な体圧分散が得られません。
---	--



完成図

- 7) 患者をウイングセットの上にのせます。
- 8) 右図のように、ディスポパッドがずれた場合、



- 9) 患者を少し浮かせ、



- 10) ディスポパッドを引き上げてください。

⚠ 注意

	ディスポパッドがずれた状態では、効果的な体圧分散が得られません。
---	---



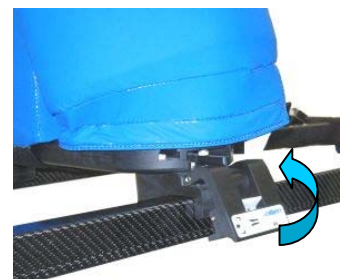
3-2-2. パッドの交換

- 1) パッドを取り外してください。
- 2) 新しいパッドの表示ラベルとウイングセット本体の表示ラベルを合わせます。
- 3) 内側から被せるように取り付け、パッドの端を引き下げてください。



3-2-3. フレックスフレームからの取り外し

- 1) ウイングセットのクランプ部の白いロック部分を押し下げながら引いて解除します。
- 2) ウイングセットをフレームから取り外します。



3-3. C プローンポジショナー

3-3-1. フレックスフレームへの取付

- 1) C プローンポジショナーをウイングセットから約 30cm 離して取り付けます。
- 2) クランプをフレームに押しこみ、しっかりと固定してください。



⚠ 注意



クランプが確実に固定されていることを確認してください。

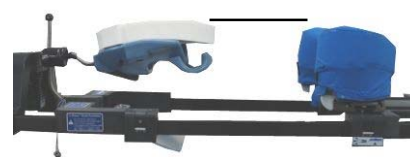
- 3) スライドロックレバーがロックの位置にあることを確認してください。



- 4) アームロックに専用キーを取り付けます。



- 5) C プローンポジショナー用ディスプレイパッドをのせ、フェイスマスクがウイングセットと平行 (同じ高さ) になるように専用キーを回して調節してください。



- 6) 調節した後、フェイスマスクをしっかりと固定し、専用キーを取り外してください。

⚠ 注意



専用キーは必ず外してください。術中の予期しない動きによりアームロックがゆるむと、患者頸椎等に重大な傷害を与えるおそれがあります。

- 7) 患者をフレックスフレーム上に腹臥位(伏臥位)にしてのせます。

⚠ 注意



あらかじめ、ストレッチャーの上で仰向けになっている患者の顔に 5) の C プローンポジショナー用ディスポッドをあてがいながらフレックスフレーム上にのせると、患者の位置調節が容易にできます。



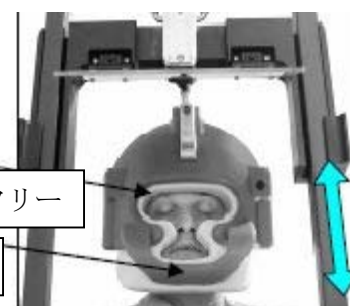
- 8) 患者の顔が見えるようにミラーを調節してください。

- 9) 患者の顔の位置を調節します。C プローンポジショナーのクランプを解除し、フレームに沿ってスライドさせ、適切な位置に調節してください。

- 10) ミラーの映像で、患者の両眼を圧迫していないこと、あごが確実に支えられていることを確認した後、クランプをフレームに押しこみ、C プローンポジショナーを固定してください。

両眼はフリー

あごは支えられている



- 11) フェイスマスクの左右の位置を調節します。フェイスマスクを支えながらスライドロックレバーを解除してください。

⚠ 注意



スライドロックレバーを解除するときは、必ずフェイスマスクを支えながら行ってください。



- 12) 調節した後、スライドロックレバーをロックの位置に合わせ固定してください。

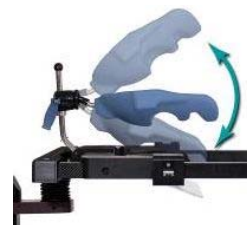
⚠ 注意



ここからの作業は、二人で行ってください。

13) 患者の首の位置を調節します。

一人はフェイスマスクをしっかりと持ち、患者の頭部を支えてください。もう一人がアームロックに専用キーを取り付け、フェイスマスクのロックを解除します。首の角度を調節し、再度フェイスマスクをロックした後、専用キーを取り外してください。



⚠ 注意



専用キーは必ず外してください。術中の予期しない動きによりアームロックがゆるむと、患者頸椎等に重大な傷害を与えるおそれがあります。



14) 患者に気管挿入を行う場合はフェイスマスクの開口部を通してください。



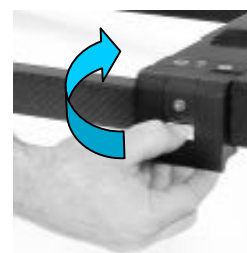
3-3-2. フレックスフレームからの取り外し

クランプの白いロック部分を押しこみながら、引き上げて取り外してください。

⚠ 注意



クランプを両方とも解除してから取り外してください。



3-4. C フレックスヘッドポジショナーセット

3-4-1. C フレックスのフレックスフレームへの取付

- 1) C フレックスのフレーム固定ノブを最大までゆるめてください。



- 2) C フレックスをフレームに取り付けてください。



- 3) C フレックスの関節部分を支えながらフレーム固定ノブをしっかりと締め、固定してください。

⚠ 注意



C フレックスが確実に固定されていることを確認してください。



- 4) 両方のハンドルを握り、アームを前後、左右、上下最大可動域まで各 5 回ずつ動かしてください。

※傾斜角度は約 15°

アームの可動域は前後約 230mm / 上下約 710mm



- 5) C フレックスを持ち上げ、C フレックス用クリーンケープを取り付けます。



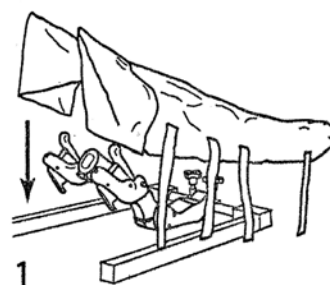
3-4-2. C フレックス用クリーンケープの取付

- 1) クリーンケープを広げ、先端の青いポケット部分で C フレックスの左右ハンドルを被います。

⚠ 注意



多目的アダプターが隠れないように注意してください。

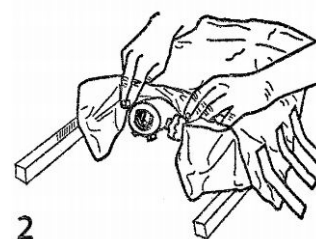


- 2) 先端方向（多目的アダプター側）から順に、アームにクリーンケープを巻きつけ付属のテープで固定してください。

⚠ 注意



C フレックスの関節部分の動きを妨げないよう、固定してください。

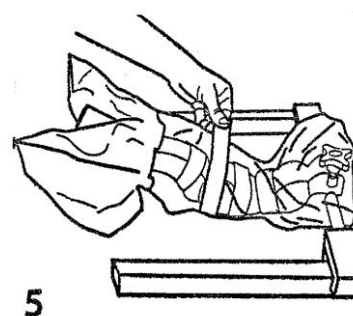
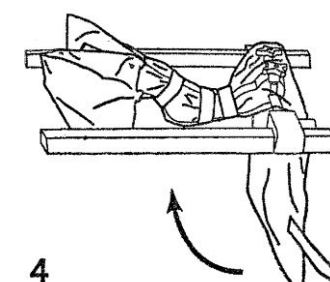
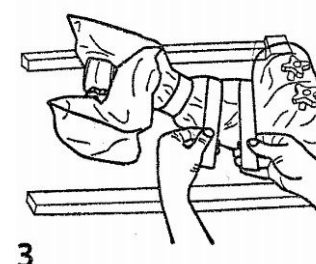


- 3) アームの根本部分にクリーンケープの他端を巻きつけ、付属のテープで固定してください。

⚠ 注意



ハンドルを操作し、アームの関節部分がスムーズに動くか確認してください。



3-4-3. プローンフェイスマスク又はフラットプレートの取付

- 1) 多目的アダプターの横の固定ノブをゆるめてください。



- 2) プローンフェイスマスク（又はフラットプレート）のコーン状コネクタを多目的アダプターに「カチッ」と音になるまで差し込んでください。

プローンフェイスマスクの場合



- 3) 多目的アダプターの横の固定ノブをしっかりと締めてください。

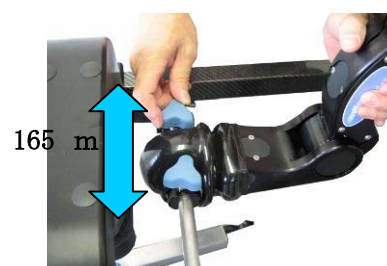


- 4) 左右の位置を調節します。2つの固定ノブをゆるめてください。



- 5) Cフレックスの関節部分を支えながら、アームを左又は右方向へスライドさせます(可動域：165mm)。

- 6) Cフレックスの関節部分を支えたまま、2つの固定ノブをしっかりと締めてください。



- 7) フレーム固定ノブをいったんゆるめて、C フレックスをできるだけ患者頭部に近い位置までスライドさせて、再度フレーム固定ノブをしっかりと締めて固定してください。



- 8) アームの傾き、高さ、前後の位置を調節します。図のようにハンドルを握ってください。

右のハンドルを握るとアームの傾きと高さが、左のハンドルを握るとアームの前後の位置が調節できます。

※傾斜角度は約 15°

アームの可動域は前後約 230mm／上下約 710mm



アームの傾き・高さの調節
右のハンドルを握る

アームの前後の調節
左のハンドルを握る



注意



C フレックスは患者頭部にできるだけ近い位置に設置し、C フレックスのアームがじゅうぶん屈曲した状態で頭部を固定してください。

- 9) 位置を調節した後、ハンドルをゆっくりと離してください。

- 10) ハンドル部分を軽く押して、アームがしっかりと固定されていることを確認してください。



注意



C フレックスの定格荷重は 10kg です。



- 11) プローンフェイスマスクに C プローンポジショナー用ディスプレイパッドをのせ、患者をフレックスフレーム上に腹臥位（伏臥位）にして移してください。



注意



- ①あらかじめ、ストレッチャーの上で仰向けになっている患者の顔に C プローンポジショナー用ディスプレイパッドをあてがいながらフレックスフレーム上に載せると、患者の位置調節が容易にできます。
- ②フラットプレートを使用する場合は、ポリウレタンブロック又は馬蹄型クッションをあらかじめフラットプレートに載せてください。



※本システムに、ポリウレタンブロック、馬蹄型クッション等は付属していません。

- 12) ミラーの位置を調節します。まず、大きいミラーに患者の顔が映るように調節してください。次に、小さいミラーに大きいミラーの映像が映るように調節します。

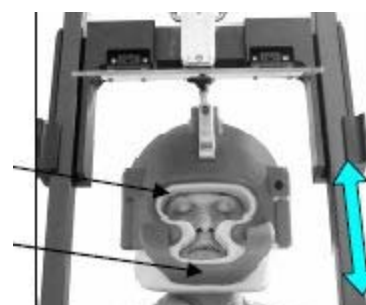


- 13) ミラーの映像で、患者の両眼を圧迫していないこと、あごが確実に支えられていることを確認してください。



注意

	ここからの作業は、二人で行ってください。
--	-----------------------------



- 14) ミラーを折りたたんでください。

- 15) 一人が患者の頭部を支えます。もう一人がアームの位置を調節します。



注意

	Cフレックスのアームの位置を調整する際は、患者の頭部を確実に支えながら行ってください。支えが不じゅうぶんな場合、患者に重大な損傷をもたらすおそれがあります。
--	---

- 16) 位置を調節した後、ハンドルをゆっくりと離してください。

- 17) ハンドル部分を軽く押して、アームがしっかりと固定されていることを確認してください。



- 18) 頭部の支えをはずします。



注意

	Cフレックスの定格荷重は10kgです。
--	----------------------------

- 19) ミラーを開き、顔の位置を再確認します。

3-4-4. プローンフェイスマスク又はフラットプレートの取り外し

- 1) 多目的アダプター横の固定ノブをゆるめてください。



- 2) 多目的アダプター下部のつまみを握り、プローンフェイスマスクを抜き取ってください。



※フラットプレートも同様の操作で取り外すことができます。

3-4-5. 三点固定器の取付

- 1) 背臥位(仰臥位)の患者に三点固定器を取り付けてください。



	本システムは、市販されている三点固定器（ただし、取り付け部に菊座形状を有する）と併用して使用することができます。取付方法については三点固定器の取扱説明書をお読みください。 ※本システムと三点固定器の菊座がきちりとかみ合うことを確認してください。
--	--

- 2) スターバーストアダプターを三点固定器に取り付けます。
ギザギザした部分（＝菊座）が完全にかみ合っているのを確認しながら、固定ノブをしっかりと締めてください。

スターバーストアダプター

固定ノブ

菊座



- 3) C フレックスの多目的アダプターの横の固定ノブをゆるめてください。



- 4) フレーム固定ノブをいったんゆるめて、C フレックスをできるだけ患者頭部に近い位置までスライドさせて、再度フレーム固定ノブをしっかりと締めて固定してください。



⚠ 注意

	ここからの作業は、二人で行ってください。
--	-----------------------------

- 5) 患者をフレックスフレーム上に腹臥位(伏臥位) にしてのせてください。

一人が患者の頭部をささえ、もう一人がCフレックスのハンドルを握り、多目的アダプターにスターバーストアダプターのコーン状コネクタが接続できるように C フレックスを患者に近づけ、「カチッ」と音になるまで差し込んでください。



⚠ 注意

	位置の調節がおわるまで頭部を支えたままにしてください。
--	------------------------------------

- 6) ハンドルを握り、アームを調節してください。



⚠ 注意

	① C フレックスは患者頭部にできるだけ近い位置に設置し、C フレックスのアームがじゅうぶん屈曲した状態で頭部を固定してください。 ② C フレックスのアームの位置を調整する際は、患者の頭部を確実に支えながら行ってください。支えが不じゅうぶんな場合、患者に重大な損傷をもたらすおそれがあります。
--	---

- 7) 位置を調節した後、ハンドルをゆっくりと離してください。

⚠ 注意

	ハンドル部分を軽く押し下げて、アームがしっかりと固定されていることを確認してください。
--	--

⚠ 注意

	C フレックスの定格荷重は 10kg です。
--	-------------------------------

- 8) 多目的アダプター横の固定ノブをしっかりと締めてください。

- 9) 患者の頭部から手を離し、ミラーを開けて頭部が正しく支えられていることを確認してください。

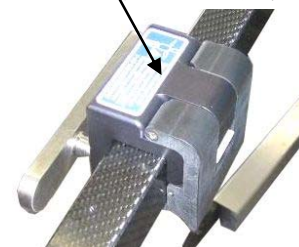


3-5. プローンアームサポート

3-5-1. フレックスフレームへの取付

- 1) 患者を腹臥位(伏臥位) にしてください。
- 2) アームボード用レールクランプをフレームの適切な位置に取り付けてください。

アームボード用レールクランプ



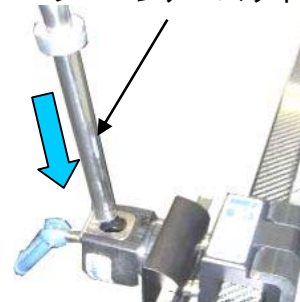
- 3) イージーロックソケットをアームボード用レールクランプに取り付けてください。

イージーロックソケット

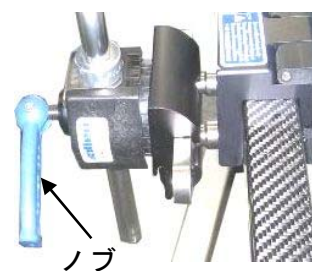


- 4) プローンアームサポートをイージーロックソケットに差し込んでください。

プローンアームサポート



- 5) 適切な位置でイージーロックソケットのノブを締め、しっかりと固定してください。



- 6) 患者の腕をプローンアームサポートの固定パッドの上に載せてください。

※必要に応じて抑制帯で固定してください。
(本システムに、抑制帯は付属しておりません)



- 7) 患者の腕を支えながら、イージーロックソケットのノブをゆるめてプローンアームサポートの高さを調節します。

- 8) ブロックハンドルをゆるめて位置や角度の調節をします。

- 9) 調節した後、イージーロックソケットのノブとブロックハンドルをしっかり固定してください。



3-5-2. フレックスフレームからの取り外し

- 1) プローンアームサポートの固定パッドを患者から取り外してください。
- 2) イージーロックソケットのノブをゆるめ、プローンアームサポートを抜き取ります。
- 3) アームボード用レールクランプをフレームから外してください。

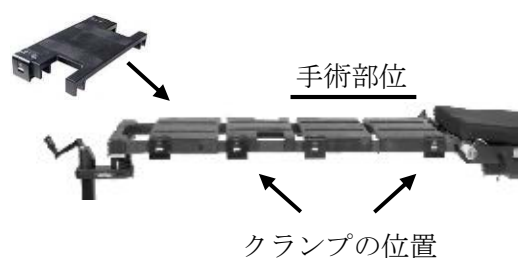
3-6. スーパイントップス

3-6-1. フレックスフレームへの取付

- 1) スーパイントップスをフレックスフレーム上に取り付けてください。

 注意

	手術部位とクランプが重ならないように設置してください。クランプはX線を透過しません。
---	--



- 2) スーパイントップスにスーパイントップス用パッドを取り付けます。



- 3) フレックスフレームにクランプを押し込み、しっかりと固定してください。

 注意

	クランプ下部を引っ張り、確実に固定されていることを確認してください。
---	------------------------------------



3-6-2. フレックスフレームからの取り外し

クランプの白いロック部分を押しこみながら、強く引き上げてください。

 注意

	クランプを両方とも解除してから取り外してください。
---	---------------------------



3-7. システムとしての使用方法

3-7-1. 腹臥位(伏臥位) で使用する場合

- 1) フレックスフレームに、ウイングセット・C プローン
ポジショナー・プローンアームサポートを取り付けま
す(各項参照)。必要に応じて、患者の両足を支えるた
め、レッグサポートパッドを設置します。
- 2) 患者を腹臥位(伏臥位) にしてフレームに載せます。
- 3) 患者が各システムに適切に支えられているか確認して
ください。

レッグサポートパッド



3-7-2. 背臥位(仰臥位) で使用する場合

- 1) フレックスフレームに、スーパイントップスを取り付
けます(スーパイントップス項参照)。
- 2) 患者をシステム上にのせます。
※必要に応じてアームボードを使用してください。
(本システムに、アームボードは付属していません)
- 3) 患者がフレームに触れていないか、患者の体がスーパ
イントップスの間にはみ出していないかを確認してく
ださい。



3-7-3. 側臥位で使用する場合

- 1) フレックスフレームに、スーパイントップス、プロー
ンアームサポートを取り付けます(各項参照)。
- 2) アームボード用レールクランプをスーパイントップス
(背板)の隙間部分に取り付けてから、スーパイント
ップス、アームサポートを取り付けてください。

スーパイントップス



アームボード用レールクランプ

3-7-4. 頸椎けん引する場合

フレックスフレーム端の滑車に、けん引ロープを通して
ください。



4. 使用後の処理に関する事項

フレックスフレーム、ウイングセット、Cプロローンポジショナーの収納方法

横から見た図



前から見た図



【図 1】

- 1) フレックスフレームの一番下の位置からスーパイントップスを①～④の順に取り付けます。
※このとき、スーパイントップスのクランプの位置に注意してください。①と②は下側、③と④は上側にして取り付けます。

図 1



【図 2】

- 2) ウイングセットの胸部用⑤を取り付けます。
- 3) ウイングセットの腸骨部用⑥をフレックスフレームの裏面に取り付けます。
※このとき、スーパイントップスの②と④のマットをいったん外してから、取り付けてください。

図 2



【図 3-1】

- 4) Cプロローンポジショナー⑦を上下逆にして、一番上に取り付けます。
- 5) アームボード用レールクランプ⑧をCプロローンポジショナー⑦とウイングセットの腸骨部用⑥の左右の隙間部分に取り付けます。

図 3-1



【図 3-2】

- 6) イージーロックソケット⑨をアームボード用レールクランプ⑧に取り付けます。
- 7) C プローンアームサポート⑩をイージーロックソケット⑨に差し込んで固定します。
- 8) 手術台から OP 台用クランプ、床固定パッドを取り外し、持ち手に掛けてください。

⚠ 注意

	OP 台用クランプは、「カチッ」と音がするまで持ち手にはさみこんでください。
---	---

図 3-2



5. 医療機器の清掃、消耗品の交換、保管方法に関する事項

- 1) 室温 19～24℃の清潔で良好な乾燥状態を保てる場所で保管してください。
- 2) 汚れが乾燥し落ちにくくなるのを防ぐため、付着した血液・体液・組織・薬品等は直ちに清拭・消毒してください。
- 3) ウイングセットパッド部、レッグサポートパッド、スーパイントップス、プローンアームサポート用パッドは、アルコール系消毒剤で清拭しないでください。
- 4) 故障の原因になりますので、C フレックスを清拭する際には、消毒剤が関節部分に入り込まないように注意してください。
- 5) フレックスフレームの支柱のロックは開放して保管してください。

6. 保守点検に関する事項

- 1) 点検
汚れ・破損・可動部の動き等を点検してください。
- 2) 耐用期間 [自己認証（当社データ）による]
パッド：3 年
パッド以外：5 年（指定の保守・点検並びに消耗品の交換をした場合）

7. 技術仕様

- 1) フレックスフレーム
適用患者体重：220kg 以下
設置できる手術台幅(レールを含む)：510～648mm
昇降高さ：635～965mm
傾斜角度/屈曲角度：約±20°
- 2) ウイングセット
適用患者体重：220kg 以下
パッドの可動域：最大 455mm
パッドの傾斜角度：約±25°
- 3) Cプローンポジショナー
適用患者体重：220kg 以下
傾斜角度：約±40°
調節可能な高さ：115～215mm
調節可能な側面回転：360°
調節可能な側面移動：±50mm
- 4) Cフレックスヘッドポジショナーセット
適用患者体重：220kg 以下
定格荷重：10kg
アームの可動域：約 230mm
傾斜角度：約±15°

8. アフターサービスとその連絡先に関する事項

製造販売業者：村中医療器株式会社

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野二丁目 8 番 2 号

TEL 0725-53-5546 <http://www.muranaka.co.jp>

9. 保証

保証規定

- 取扱説明書・本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、お買い上げ日より一年以内に故障した場合、無償修理いたします。
- 無償修理期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ日、お客様名、お買い上げ店名の記入のない場合あるいは字句を書替えられた場合。
 - 消耗部品。
 - 故障の原因が本品以外に起因する場合。
 - その他取扱説明書に記載されていない使用方法による故障及び損傷。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この本書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品質保証書

このたびは、**アレン スパイナルシステム**をお買い求めいただきありがとうございました。本品は厳重な検査を行い、高品質を確保しております。しかし通常のご使用において、万一不具合が発生した場合は、保証規定により、お買い上げ日より一年間は無償修理いたします。

※製品の保証は日本国内での使用に限ります This warranty is valid only in Japan.

※以下につきましては必ず販売店にて記入捺印をお受けください。

商品名: **アレン スパイナルシステム**
ご芳名

ご住所

TEL. ()

お買い上げ店名

印

住所

TEL. ()

お買い上げ日 年 月 日

製造販売業者: 村中医療器株式会社

〒594-1157 大阪府和泉市あゆみ野二丁目8番2号 TEL 0725-53-5546